

2026年4月2日



～運転士の疲労軽減をサポート～
保護メガネ（偏光レンズ）試験着用について

四日市あすなろう鉄道では、列車運転中の運転士が太陽光からの強い光や反射光による眼精疲労、ストレスの軽減を図ることを目的に、保護メガネ（偏光レンズ）の試験着用に2026年4月3日（金）から実施します。

保護メガネ（偏光レンズ）は、まぶしさや反射光を効果的にカットし、視界をクリアで快適にすることで目に与える効果が期待できます。

今回の試験着用を通じて保護メガネ（偏光レンズ）着用時の効果を検証し、本格導入を見据えた課題の分析を行います。

今後も安全な列車運行に努めるとともに、社員の健康保持・増進に向けた施策を積極的かつ継続的に取り組んでまいります。詳細は以下のとおりです。

1. 実施期間 2026年4月3日（金）～約1か月間
 ※期間は変更となる場合があります。
2. 対象路線 四日市あすなろう鉄道線 全線
3. 検証内容 一部の運転士に対して、色覚に影響を及ぼさない保護メガネ（偏光レンズ）を貸与し運転業務における信号、標識および運転台モニターなどを確認し、着用効果を検証します。
4. 使用する保護メガネ（偏光レンズ）

メーカー : SWANS/山本光学株式会社（本社／東大阪市）



フリップアップ
(跳ね上げ式タイプ)



クリップオン
(メガネの上に着用するタイプ)

(以上)